



平成28年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月12日

上場会社名 株式会社ユニバーサル園芸社 上場取引所 東
 コード番号 6061 URL <http://www.uni-green.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森坂 拓実
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 安部 豪 (TEL) 072-649-2266
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト、報道関係者向け)

1. 平成28年6月期第2四半期の連結業績 (平成27年7月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第2四半期	2,843	44.9	409	27.4	427	24.2	279	27.9
27年6月期第2四半期	1,962	2.9	321	1.1	344	1.7	218	7.7

(注) 包括利益 28年6月期第2四半期 267百万円(21.2%) 27年6月期第2四半期 220百万円(8.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
28年6月期第2四半期	円 銭 116.36	円 銭 —
27年6月期第2四半期	90.96	—

平成27年7月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
28年6月期第2四半期	百万円 6,431	百万円 5,458	% 84.9
27年6月期	6,166	5,263	85.4

(参考) 自己資本 28年6月期第2四半期 5,458百万円 27年6月期 5,263百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年6月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 60.00	円 銭 60.00
28年6月期	—	0.00			
28年6月期(予想)			—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年7月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成27年6月期の年間配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成28年6月期の連結業績予想 (平成27年7月1日～平成28年6月30日)

連結業績予想に関する序文

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	5,365	33.7	621	11.6	649	8.6	415	△8.0	173.10	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成27年7月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり予想当期純利益は、当該株式分割を考慮し算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) ()、除外 一社(社名) ()

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年6月期2Q	2,512,500株	27年6月期	2,512,500株
28年6月期2Q	110,096株	27年6月期	110,096株
28年6月期2Q	2,402,404株	27年6月期2Q	2,402,404株

平成27年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して期末発行済株式数及び期末自己株式数、平成27年6月期の期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスクや不安定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信〔添付資料〕3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、中国をはじめとする新興国の景気減速の懸念はあるものの、先進国を中心とした緩やかな回復傾向は続いており、経済政策等の効果による雇用や所得環境の改善、また原油価格の下落を背景に消費の持ち直し等により、景気は緩やかな回復基調が続いております。

このような環境のもと、当社グループは主力事業であるグリーン事業において、レンタルグリーンのマーケティング活動に注力したほか、グリーン事業の更なる拡大を図るため、生花店及び園芸雑貨店の経営を中心とした小売事業の拡大に努めてまいりました。当社は小売事業を新たな戦略事業として位置付け、積極的に事業を展開するとともに、初期投資の回収に向け経費削減などの収益力強化に係る取組を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,843,605千円（前年同四半期比44.9%増）、営業利益は409,846千円（同27.4%増）、経常利益は427,875千円（同24.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は279,531千円（同27.9%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・按分は、変更後の区分に基づいております。

各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

[グリーン事業]

グリーン事業につきましては、引き続き景況感の緩やかな需要回復が進み、契約数の増加や前連結会計年度に新たに連結子会社となったローリング・グリーンズ社の影響等により増収となり、また経費削減に積極的に取り組んだ結果、増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,937,909千円（前年同四半期比30.4%増）、営業利益は416,225千円（同19.4%増）となりました。売上高営業利益率は、関東エリアは26.4%（前年同四半期24.4%）、関西エリアは24.7%（同23.3%）、海外エリアは0.8%（同7.3%）となりました。

[卸売事業]

卸売事業につきましては、販売先の拡大等の営業強化に引き続き取り組んだことや、前連結会計年度に新たに連結子会社となった観葉植物等の卸売をしている株式会社高島屋植物園の影響等により増収増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は439,707千円（前年同四半期比130.7%増）、営業利益は17,533千円（同68.5%増）となりました。

[小売事業]

小売事業につきましては、大阪本社に隣接するガーデンセンターが前期においてリニューアルオープンし、また10月に銀座や四條畷（大阪府）にグリーンショップをオープンしたこと等により増収となりましたが、店舗新設の設備投資に係る費用や償却負担等の増加に伴いセグメント損益は損失となっております。

以上の結果、当セグメントの売上高は510,195千円（前年同四半期比70.8%増）、営業損失は33,304千円（前年同四半期は45,359千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は6,431,949千円となり、前連結会計年度末に比べて265,889千円の増加(4.3%増)となりました。

このうち流動資産は2,618,225千円となり、前連結会計年度末に比べて319,905千円の増加(13.9%増)となりました。これは主に有価証券が200,000千円、受取手形及び売掛金が98,233千円増加したこと等によるものであります。また、固定資産は3,813,723千円となり、前連結会計年度末に比べて54,015千円の減少(1.4%減)となりました。これは有形固定資産が192,532千円増加した一方、投資その他の資産が202,410千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は973,143千円となり、前連結会計年度末に比べて70,630千円の増加(7.8%増)となりました。これは主に未払法人税等が53,291千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は5,458,806千円となり、前連結会計年度末に比べて195,258千円の増加(3.7%増)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を279,531千円計上する一方で、配当金72,072千円の支払等により、利益剰余金が207,459千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料の発表日現在におきましては、平成27年8月13日に発表した連結業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,351,906	1,345,991
受取手形及び売掛金	563,709	661,942
有価証券	100,000	300,000
商品及び製品	203,763	242,815
原材料及び貯蔵品	1,015	560
その他	84,401	73,775
貸倒引当金	△6,476	△6,859
流動資産合計	2,298,319	2,618,225
固定資産		
有形固定資産		
土地	795,824	946,274
その他	1,357,434	1,433,300
減価償却累計額	△911,221	△945,004
その他(純額)	446,213	488,295
有形固定資産合計	1,242,037	1,434,570
無形固定資産		
のれん	396,898	357,581
その他	33,723	28,902
無形固定資産合計	430,621	386,484
投資その他の資産		
投資有価証券	921,296	719,883
繰延税金資産	380,987	383,666
投資不動産	506,735	506,735
減価償却累計額	△94,092	△97,902
投資不動産(純額)	412,642	408,832
その他	485,872	486,005
貸倒引当金	△5,718	△5,718
投資その他の資産合計	2,195,080	1,992,669
固定資産合計	3,867,739	3,813,723
資産合計	6,166,059	6,431,949

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	186,154	196,191
未払法人税等	96,808	150,100
賞与引当金	3,779	3,978
その他	201,082	200,223
流動負債合計	487,823	550,494
固定負債		
退職給付に係る負債	163,529	169,569
長期未払金	212,727	207,601
その他	38,431	45,477
固定負債合計	414,688	422,648
負債合計	902,512	973,143
純資産の部		
株主資本		
資本金	172,770	172,770
資本剰余金	122,488	122,488
利益剰余金	5,118,735	5,326,195
自己株式	△153,585	△153,585
株主資本合計	5,260,409	5,467,869
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△411	△440
為替換算調整勘定	3,549	△8,622
その他の包括利益累計額合計	3,137	△9,062
純資産合計	5,263,547	5,458,806
負債純資産合計	6,166,059	6,431,949

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
売上高	1,962,587	2,843,605
売上原価	777,334	1,131,561
売上総利益	1,185,253	1,712,043
販売費及び一般管理費	863,659	1,302,197
営業利益	321,594	409,846
営業外収益		
受取利息	6,376	6,838
受取配当金	190	189
投資不動産賃貸料	19,394	14,550
その他	6,895	8,272
営業外収益合計	32,857	29,851
営業外費用		
不動産賃貸原価	8,406	9,953
為替差損	1,088	1,217
その他	551	651
営業外費用合計	10,046	11,822
経常利益	344,404	427,875
特別損失		
固定資産除却損	6,868	—
特別損失合計	6,868	—
税金等調整前四半期純利益	337,536	427,875
法人税等	119,019	148,343
四半期純利益	218,516	279,531
親会社株主に帰属する四半期純利益	218,516	279,531

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	218,516	279,531
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△435	△29
為替換算調整勘定	2,522	△12,171
その他の包括利益合計	2,086	△12,200
四半期包括利益	220,603	267,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	220,603	267,331
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	グリーン事業				卸売 事業	小売 事業			
	関東 エリア	関西 エリア	海外 エリア	小計					
売上高									
外部顧客への 売上高	746,755	699,617	38,434	1,484,807	179,571	298,208	1,962,587	—	1,962,587
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	1,811	—	1,811	11,031	584	13,428	△13,428	—
計	746,755	701,429	38,434	1,486,619	190,603	298,793	1,976,016	△13,428	1,962,587
セグメント利益 (△は損失)	182,110	163,707	2,792	348,609	10,403	△45,359	313,654	7,939	321,594

(注) 1 セグメント利益(営業利益)の調整額7,939千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等であり
ます。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な減損損失又はのれん等はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	グリーン事業				卸売 事業	小売 事業			
	関東 エリア	関西 エリア	海外 エリア	小計					
売上高									
外部顧客への 売上高	886,035	729,397	322,065	1,937,498	396,423	509,683	2,843,605	—	2,843,605
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	411	—	411	43,284	511	44,207	△44,207	—
計	886,035	729,809	322,065	1,937,909	439,707	510,195	2,887,813	△44,207	2,843,605
セグメント利益 (△は損失)	233,526	180,167	2,530	416,225	17,533	△33,304	400,454	9,391	409,846

(注) 1 セグメント利益(営業利益)の調整額9,391千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等であり
ます。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な減損損失又はのれん等はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「グリーン事業」セグメントに含まれていた「小売事業」セグメントについて
重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

また、従来区分掲記しておりました「ネット通販事業」セグメント及び「造園事業」セグメントは、重要性が乏
しくなったことに伴い、セグメントの区分方法を見直し、「グリーン事業」セグメントに含めて記載しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを
開示しております。